

宮城県 公文書館だより

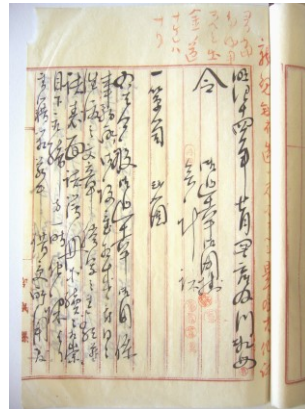
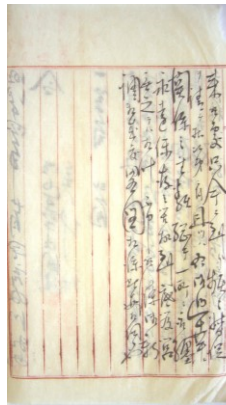
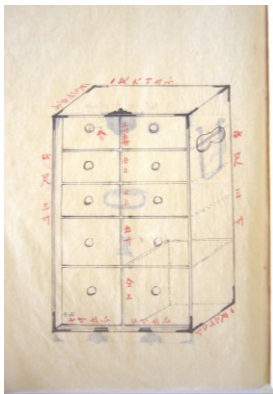
第12号

平成19年12月



所蔵資料の紹介「巡幸関係資料の整理・保存」	1頁
宮城県公文書館企画展「明治天皇巡幸一人々の歓迎とその舞台裏」	2頁
公文書館の仕事	3頁
宮城県の一口知識「伊達政宗騎馬像と金属回収令」	”
公文書館専門職員養成課程受講報告ほか	4頁

所蔵資料の紹介



巡幸書類収納用たんす新調伺
〔M一四—〇〇九五〕

—巡幸関係資料の整理・保存—

明治14年(1881年)6月11日、明治天皇の東北・北海道巡幸が決定され、宮城県に通知されたことから、宮城県は「御巡幸御用掛事務所」を設置し、準備に当たった。

7月4日、御巡幸御用掛は、「巡幸関係書類が急増したため、他課から書籍箱を借りて収納している。他課からは書籍箱返却の督促もあり、このままでは一カ所にまとめて永く保存することはできない。」として、巡幸書類を整理・保存するための「^{たんす}箆笥 式(二)簡」を新調してよいか、県令松平正直に伺いをたてている。内務省や宮内省、関係諸郡、他県等とのやりとりの多くは文書で行われたため、日に日に増える文書の整理・保存に苦勞していた様子が窺える。(ある御用掛は、天皇の随行員への書状を誤って開封してしまい、進退伺を提出している。)しかし、県令松平は「新規製造ハ見合スベシ・・・出金ノ道ナケレバナリ。」(予算がないので許可できない)と回答している。

巡幸終了後の9月2日、県庶務課は、御巡幸御用掛事務所の閉鎖に伴い、庶務課記録係が巡幸関係書類を引継ぎ、保管することを県令松平に報告している。結果、巡幸関係書類は、庶務課関係(1~4巻)、勸業課関係(5巻)、土木課関係(6巻)、会計課関係(7巻)、警察関係(8巻)、野蒜代巡関係(9巻)、内務卿進達関係(10巻)、奏状関係(11・12巻)に分冊して整理され、全12冊が現在まで保存されている。

明治19年(1886年)4月、宮城県は「^{へんしゅう}文書編輯保存手続」(現在の文書規程)を定めた。県政の初期から公文書の重要性を認識し、少ない予算の中で整理・保存に努めてきた結果、多くの公文書が残された。そして近年、「電子文書」が登場し、新たな対応が求められている。公文書の整理・保存に対する悩みは尽きず、これからも工夫と試みは続く。

明治天皇巡幸 —人々の歓迎とその舞台裏—

明治時代前半、明治天皇は、巡幸の際に宮城県を二度訪れました。

最初は、明治9年（1876年）の東北巡幸。明治天皇一行は、6月22日から7月3日にかけて宮城県に滞在し、県民は各地で盛大に歓迎しました。その2ヵ月前。4月24日、東北巡幸実施の太政官布告が宮城県に出されました。宮城県にとって初めてのことであり、天皇を迎えるノウハウなど当然ありません。「何を、どのように準備すればよいのか・・・?」。内務省から『心得方』（巡幸の準備に関する注意点等）が通知されましたが、すべてを網羅していたわけではなく、その後次々と通達が出されました。到着予定日が刻々と迫る中、県職員と沿道の人々は、問題をひとつひとつ解決しながら歓迎態勢を整えていきました。

続いて、明治14年（1881年）の東北・北海道巡幸。北海道へ向かう途中、8月10日から16日にかけて宮城県に滞在しました。今回は通過のみであったにもかかわらず、県令松平正直が自ら各地を巡回するなど、前回にも増して念入りに準備を行い、県民も様々なものを天覧に供しました。

今回の展示では、内務省・宮内省等との往復文書や県内各地への布達等から、「慌ただしい歓迎の舞台裏」を眺めるとともに、「明治天皇の松島・塩竈観光」「政府高官による県内視察」「各地の歓迎エピソード」等を紹介します。

— 主な展示資料 —

配架番号	資 料 名	配架番号	資 料 名
M9-129	奥羽地方巡幸実施の件	M14-83	御巡幸供奉人名
M9-200	心得方	M14-83	御巡幸供奉人名、輦路 ^{れんろ} 里程御休泊割
M9-201	県職員自宅清掃の件	M14-88	白石行在所図面
M9-199	県内の史跡調査の件	M14-89	西洋品使用禁止の件
M9-129	奉迎心得	M14-87	捕魚天覧の件
M9-200	行幸之節士民 ^{そんきよ} 踳踳之義二付伺	M14-83	御巡幸二付沿道地方官心得書
M9-199	沿道の景観整備の件	M14-90	警察官心得
M9-199	仙台における視察場所及び順序の件報告	M14-95	御用状破封二付進退伺
M18-18	行在所 ^{あんざいしよ} 「旅館梅林」	M14-88	多田川氾濫状況の報告
M9-201	塩竈神社・志波彦神社清掃の件	M14-87	花火打上許可願の件
M9-202	不決之条々取調書	M14-95	巡幸書類収納たんす新調伺



天覧騎射（明治9年，桜岡公園）

宮城県公文書館企画展

「明治天皇巡幸

—人々の歓迎とその舞台裏—」

・開催期間

平成19年12月28日（金）まで

・開催場所

宮城県公文書館3階展示室

（入場無料）

公文書館の仕事

1. 「内容調査」

当館では、管理している公文書や絵図面の内容調査を進めています。「内容調査」とは、資料の内容を確認し、目録を作成するものです。同時に、資料の修復（破れた部分の裏打ちや綴じなおし、ホチキス針の除去など）や個人情報の有無の確認も行っており、資料を管理・利用する上でたいへん重要な作業となっています。現在専門調査員がこの作業に当たっており、平成18年度は約6,000冊の内容調査を行いました。

今後も、皆さまにできるかぎり広く、長く、資料をご利用いただくために、内容調査を進めていきたいと考えております。

公文書館文書管理調査票	
資料番号	平成16年02月13日
資料名	5000 - 昭和48年度 - 5000
資料種別	5000
資料内容	48千圓応急対策事業(公文)
資料番号	001-001
資料内容	
公開/非公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
調査者	
調査日	

公文書館文書管理調査票

2. 公文書館見学

平成19年6月7日(木)、東北大学文学部日本史研究室(近現代史専攻)の3・4年生及び大学院生24名が、ゼミ活動の一環として当館を見学に訪れました。当館職員が、概要及び閲覧室の利用方法、公文書の保存・取扱いなどについて説明を行った後、普段は立ち入ることのできない書庫を案内しました。学生の皆さんからは、「〇〇に関する資料はあるか?」「保存のために何か特別なことをしているのか?」「非公開となっている資料にはどのようなことが書かれているのか?」など、多くの質問が出されました。

今後も、普及活動の一環として見学者の受入れを行いますので、お気軽に当館までご連絡ください。

宮城県の一知識

伊達政宗騎馬像と金属回収令

仙台の観光スポットのひとつである「伊達政宗騎馬像」。現在、青葉城天守台にある騎馬像は“2代目”で、“初代”は、上半身しか残っていませんが、仙台市博物館にあります。

昭和8年(1933年)、伊達政宗の300回忌記念事業として、銅像の製作が計画されました。製作者は柴田町出身の彫刻家^{こむろとむる}小室達。昭和10年(1935年)に“初代”が完成し、天守台に設置された際、感動の拍手が鳴りやまなかったと言います。しかし、“初代”は、完成後わずか数年で、戦争という歴史の波に飲み込まれることになるのです。

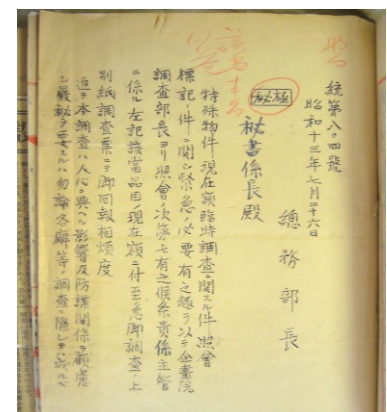
昭和13年(1938年)、政府は、ゴミ箱から電車部品にいたるまで、鉄製・銅製の「回収ノ見込アル品目」の調査を各道府県に命じました。

(人々に疑念を抱かせないため、秘密裡に行われました。) さらに、昭和16年(1941年)、「金属回収令」が出され、鍋・釜などの家庭用品、橋の欄干や鉄柵など、あらゆる金属製品が回収され、塩竈から釜石の製鉄所へ送られました。そして、この時、“初代”も回収され、塩竈に送られました。その結果、上半身を残し、“初代”は失われてしまったわけです。

この後、“初代”の鋳型(原型)が発見され、昭和39年(1964年)に“2代目”が完成し、現在にいたっています。



伊達政宗騎馬像



鉄製銅製工作物調査の件

公文書館専門職員養成課程受講報告

国立公文書館で開かれた「公文書館専門職員養成課程」（前期；9月3日～14日，後期；10月22日～11月2日）に参加しました。講義内容は，館の運営に深く関わるものから，専門的な（難解な？）ものまで多岐に渡り，一流の講師陣から多くのものを吸収することができました。公文書館の業務は様々ですが，「何を残し，いかに長く保存するか」ということが最も重要かつ基本となります。この点において，評価・選別や資料保存の講義は，たいへん参考になる内容でした。また，全国から集まった受講生と交流を深めることで，役立つ情報をたくさん得ることができました。当館は開館して7年目を迎えました。研修で得たものを，現状の改善と今後の方向性の検討に活かしていきたいと思えます。 [受講者；森哲也]

寄贈図書

関係機関から寄贈された図書（一部）をご紹介します。

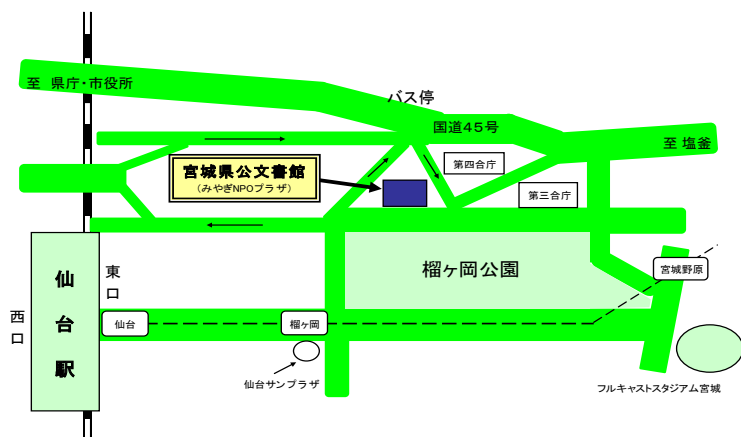
- | | |
|-----------------------|---------------|
| ・『市史せんだい Vol.17』 | 仙台市 |
| ・『亙理町立郷土資料館年報 第9号』 | 亙理町立郷土資料館 |
| ・『国立公文書館年報 第36号』 | 独立行政法人国立公文書館 |
| ・『栃木県立文書館研究紀要 第11号』 | 栃木県立文書館 |
| ・『岡山県立記録資料館年報 平成18年度』 | 岡山県立記録資料館 |
| ・『元興寺文化財研究所研究報告2006』 | 財団法人元興寺文化財研究所 |
| ・『広島県立文書館紀要 第9号』 | 広島県立文書館 |
| ・『三和 第36号』 | 三和会 |

お知らせ

- ・企画展「明治天皇巡幸一人々の歓迎とその舞台裏」は12月28日（金）まで開催しております。皆様のご来館をお待ちしております。
- ・空調改修工事のため，12月25日（火）〈予定〉まで，2階閲覧室の利用を休止いたします。ご不便をおかけしますが，何卒よろしく願いたします。

利用案内

- 1 開館時間 午前9時から午後5時まで
- 2 休館日 月曜日，国民の祝日・休日（土曜日・日曜日に当たる日を除く），年末年始
- 3 交通のご案内 JR仙石線榴ヶ岡駅下車（徒歩7分）
仙台市営バス・宮城交通「第四合同庁舎前」下車（徒歩3分）



公文書館だより

—第12号—

平成19年12月2日発行

編集発行

宮城県公文書館

〒983-0851

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5

電話022-791-9333